

① 異国人に返答之心得

異国人に返答之心得

那覇市史 近世資料補遺
第一卷第一章 解説

発行 那覇市役所
編集 市民文化部歴史資料室

在番方

一 琉球之産物相尋候ハ、

黒砂糖 粟 焼酎

棉布 蕉布 麦

黍類 豆 唐芋¹ 米

但穀物類²之出来高少、年々度佳喇島人持渡候を買取致用弁候
一金銀出所相尋候ハ、

答

琉球之儀金銀銅鉄一切出産無之候付、簀調用等中国度佳喇島人³
相求申事候

宝島人持渡候品物相尋候ハ、

米 木板 木綿 鉄類 但持渡高少

③

一 問、度佳喇島船毎年何艘罷渡候哉

答

毎年拾三四艘程琉球に罷渡候

附而先島行大和船相尋候ハ、当島之儀琉球に年貢積船作事調
兼、毎歳琉球に罷渡候度佳喇島船之内相雇、致運送候段相答
一 問、右船琉球往還時節相尋候ハ、

答

毎年春之頃渡来、間二一二艘ハ秋冬之頃致来着候節も有之候、帰
帆ハ夏之頃二の候得共、順風無之秋冬ニ懸致帰帆候節有之候

鍋釜 きせる 多葉粉入 扇子

臘燭³灯類 下駄 紙 髪附 筆

墨 茶 多葉粉 昆布 葉種子油

一 上様御歳相尋候ハ、御三拾二と相答候事

一 唐に進貢之船数并貢期等相尋候ハ、実成之通相答候事

一 大和船相尋候ハ、日本之属島宝島船と相答候事

一 楫船馬艦船相尋候ハ、属島之島に罷渡候段相答候事

一 風俗逢尋候ハ、往古より唐に進貢相勤、聖賢之書を学ひ平常礼

儀大切二仕、無礼之者ハ甚相悪ミ候段相答候事

一 女人之事相尋候ハ、節儀之慎何より以大切仕、壮年之頃夫を失

候も再嫁無之候

註 1 園芋 2 園産 3 園舩 4 園二

一問、琉球船右島に後罷渡候哉

答

年柄次第国用不足之品求用、又ハ兼¹の借米有之、為返弁砂糖焼酎

其外雜物等積入、或ハ一艘或ハ二三艘差渡候時²後有之候

度佳喇島人琉球に公館相立置候哉と相尋候ハ、公館相立候儀ハ

法度之事ニ³、平日船住ニ⁴致商買候段相答候事

附病氣又ハ何歟差支滞在仕度申出候方ハ、那霸官承届限相立滞

在差免、取締向旁那霸官請込ニ候

一右商船帰帆之節何品買渡候哉と問候ハ、黒砂糖焼酎蕉布類焼物

類と相答

一問、唐に進貢之品相尋候ハ、

答

銅錫硫磺三色ニ相限候、銅鉄³ハ専度佳喇島人⁴買取候、硫磺と琉

球外島ニ少く出来候、其分ニ⁵ハ及不足候付、是又度佳喇島人⁶

買取候⁷る答合申候

一問、進貢接貢船⁸唐に持渡候品何品ニ⁹候哉

⑤ 答

昆布寒天ふかのひり⁴持度可申候

一右品く出所相尋候ハ、ふかのひり⁵ハ国産も有之候得共僅計ニ⁶、

多分ハ度佳喇島人⁷買取、昆布寒天ハ専度佳喇島人⁸買取候

段相答候事

一問、唐より持渡候品何色ニ⁹候哉

答

冠服用之糸反物藥種砂糖茶⁷杯買渡申候

一問、進貢使⁸何官⁹被差遣候哉

答

正三品耳目官⁶被差遣候

一問、從

皇帝御賜物何くニ⁹候哉

答

糸反物并器物等ニ⁹候

一問、年々渡唐船⁸買渡候品物国中までニ⁹相捌候哉

⑥ 答

中国に之貢物払物求用度佳喇島人⁶に相渡、国用迎⁷去至⁸る僅計ニ⁹候

一琉球⁸後何ニ⁹交易仕候哉と問候ハ、穀物又⁷雜物ニ⁸取遣仕、

尤錢⁷後有之候得共至⁸る不自由有之、日用野菜類買入用⁹免哉角取

遣仕、尤島⁸ハ穀物又⁷雜物計ニ⁹取遣仕候段相答候事

一錢出所相尋候ハ、度佳喇島人共身廻遣用、時々持渡候段相答候

事

一傾城罷居候哉と相尋候ハ、琉球又⁷島⁸に後罷居不申⁹と相答

一問、政年⁸被相携候官人衆相尋候ハ、答

總理官御一人、布政大夫御三人、度支官三人、耳目官四人、替⁸

儀官八人

註1 圈急 2 圈節 3 圈錫 4 5 圈れ 6 圈茶 7 圈黍

8 圈京端

一問、琉球も孔孟之道を尊信之由候処、出家後段に罷居候様二見及候、仏法も尊信之儀二のハ無之候哉

⑦ 答

一中国之風俗ニ習古る出家罷居候、何そ人々仏道を信候儀二のハ無之候

一波龍舟之事相尋候ハ、年柄次第為祈願漕候段相答候事

一御当地之儀、糸反物出産無之段異国人に被御達置候付、綿子紬等

出来候段相聞へ候るハ差障候付、其心得可有之候

一問、塩硝(硝)も琉球ニの出来候哉

答

琉球ニのハ出来不申、進貢船接貢船持方少く、度佳喇島る相

求候

一問、琉球諸船之類大抵一樣ニ有之候処、与論島永良部島徳之島大

島鬼界島杯之船形も、日本之船形ニ不相替候儀何様之訳ニの候哉

⑧ 答

船作事之儀府々島々心次第之事ニの、住古る諸国之船見合心ニ叶

候法式式稽古仕、致船作事用得來事候処、大明洪武年間於唐船作事

致稽古、多分其船形ニ引改置候由、与論島伊良部島徳之島大島鬼

界島も、今迄跡々之通日本之船形ニの候

一問、琉球ハ度佳喇島計致取合、日本に交通無之候哉

答

度佳喇島人計致交通、日本に一切取合不致候

一問、度佳喇島ハ隣島も有之候哉

答

度佳喇島ハ七ヶ島有之、右島之者琉球に罷渡品物貿易いたし、別

の重宝相成候付、往古る右七ヶ島を宝島と唱申事候、右外隣島も

有之由候得共、何ヶ島又も島名等存不申候

⑨ 一問、度佳喇島も当地より里数如何程有之候哉

答

委敷不承候得共、大抵琉球里積ニノ式百里余有之由

一島より琉球に之里数相尋候ハ、実成之通相答候事

一問、琉球三拾六島之内、大島徳之島鬼界島与論島永良部島ハ、日

本之拘二相成候由承候、実正其通候哉

答

三十六島ハ往古る琉球属島ニの、日本之拘三相成候島ハ曾る無之

候

一問、右五島之者姿も琉人之事候得共、実も日本之拘四相成居候段

委細五書物相見得候処、何様之儀ニの偽を構候哉

答

琉球も兼く申入候通至る不自由之小国、殊風旱之災殃不相絶、其

節く度佳喇島る借米等を以致助命來、連く屯居候借米及太分返弁

之術不能力、償用トノ右五島之産物、直二度佳喇島に致取納呉度

致約定候付、当分ハ度佳喇島人る諸事致差引候、免角此儀を聞違

註 1 圓形 2 圓く請ニ 3 圓諸 4 圓致 5 圓抱

6 圓抱 7 圓球 8 圓抱 9 圓敷 10 圓頃合

候、日本之拘¹書物²ニ相載為申³ニ可⁴有⁵之候

一問、右五島之産物ハ何⁶ニ⁷候哉

答

大抵琉球同前之産物ニ⁸候

一問、琉球砂糖出来高何程ニ⁹候哉

答

出来高存不申候

一總理大臣

正一品

一布政大臣

從一品

一紫金夫

正二品

一耳目官

正三品

⑪

一替議官

正四品

一都通官

正五品

一摂政三司官衆御³名字唐御名相尋候ハ、左之通相答、御書院当ハ

一実名之通相答候事

古謝按司

尚廷柱

一布政大夫⁵

棚原親方

馬良才

安室親方

毛鳳鳴

座喜味親方

向永保

一琉球旅行之家やまと風見簾立置候を相尋候ハ、いつ方⁶に渡海之節⁷ハ留主之者共風見用ニ、琉球船或ハ度佳喇島之船或ハ鳥魚之類

等ニ⁸、面⁹好次第家内¹⁰に風見簾相立候風俗之段相答候事

一やまと人之塚相尋候ハ、度佳喇島人之塚¹¹に相答、右碑文ニ薩州

杯¹²に書記置候を相尋候ハ、彼島地名ニ¹³も可有之哉存不申段相

答候事

⑫

一

御大子尋上候ハ、去¹⁴年八月被遊御逝去候段相答候事

附御歳相尋候ハ、御拾三被為成たる段相答

一外ニ御男子尋上候ハ、御一人被遊 御座候段相答候事

一御歳尋上候候ハ、御三歳之段相答候事

一御弟部相尋候ハ、御一人被成御座候段相答候事

一右御名唐御名御歳相尋候ハ、玉川王子尚慎、御歳式拾式¹⁵に相答

候事

⑬

一總理大臣御間柄之続相尋候ハ、御從御叔父之段相答候事

一總理官上ニ官人罷在候哉¹⁶尋有之候ハ、不罷居段相達候事

一鐘ニ相国之名号書入候を見候段申候ハ、總理官之事ニ¹⁷候由相

答候事

一琉球府官¹⁸何人罷在候哉¹⁹に相尋候ハ、南山府北山府各一人罷在、

中山府²⁰布政官罷在候付、府官²¹に罷居不申段相答候事

一府官²²何品官ニ²³候哉²⁴に相尋候ハ、從二品²⁵に相答候事

註1 圈抱 2 圈旨 3 圈總理官布政官 4 圈なし 5 圈官

6 圈見付 7 圈形

上様唐御名尋上候ハ、実成之通相答候事

国祖母様

国母様

御妃様御名尋上候ハ、右通唱上候段相答候事

一右

御三所様御姓并御歳尋上候ハ、

国祖母様御姓毛、御歳御六十一

国母様御姓翁、御歳御五十五

御妃様御姓馬、御歳御三十一之段相答候事

一御姫様尋上候ハ、御両人之段相答候事

一御夫人尋上候ハ、不被成御座段相答候事

午七月

右心得書之儀在番方ハ格護ニ、御用可見合旨依仰此節写置候

間、跡役ハ後無伝失御次渡可被成候、以上

咸豊四年庚
三月朔日

浦崎筑登之親雲上[㊤]

具志筑登之親雲上[㊤]

読谷山里之子親雲上[㊤]

在番方

「異国人江返答之心得」（咸豊四年、一八五四）は、王府から両先島の在番方へ通達した文書である。ただし、在番方のみ限定して通達された文書ではなく、王府の主要機関へ広く通知されたものと考えられる。また、この文書は「午七月」の布達文書を再度、一八五四年に布達したものである。午年は『琉球王国評定所文書』第一七卷所収の「異国人江返答之心得」（一八四八）か道光二六年（一八四六）の可能性が高い。欧米の異国船の来航によって、琉球の従来の対外関係は大きく揺り動かされた。そのため、欧米人からの質問を想定し、その模範解答として作成されたのが本文書である。欧米諸国から突きつけられた貿易関係の成立を回避するために、琉球をできるだけ物産の乏しい貧国として位置づけようとしていたことや、日本（薩摩藩）との関係を隠蔽していたこと等が、本文書の基本となっている。そのことは対清関係で構築された対日本関係の隠蔽体制を欧米諸国との関係においても適用していたことを示している。